

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	三気の家		
○保護者評価実施期間	2024年11月1日		2024年11月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	24
○従業者評価実施期間	2025年2月25日		2025年3月7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	10
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月11日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	集団の中でみんなと一緒に同じ活動ができるようにプログラム構成プログラムの確立に努めている 基本プログラムに合わせ豊富なグループ活動…感覚タイム、音楽タイム、サッカータイム、動作法訓練会、グループ言語訓練、年長タイム等 『皆と一緒に歩く、座る、移動する、運動する』の確立で社会の中で豊かな人生を送れるよう生きる力を付ける	①スタッフ研修や日々のミーティングを通じて事例検討を含め、プログラムの構成やスタッフ配置、留意点の確認、改善策について意見交換を行っている。 ②基本プログラムに合わせ豊富なグループ活動…感覚タイム、音楽タイム、サッカータイム、動作法訓練会、グループ言語訓練、年長タイム等。	研修や意見交換の際には、重要なポイントを明確に言語化することが大切あり、相手が直感的に理解できる表現を心がけることに努める必要がある。そのためには、わかりやすい言葉を選び、具体的な例を用いることや内容を可視化することが求められる。こうした工夫の力や伝達力をさらに高められるよう日頃からの意識と研修受講が考えられる。
2	食事、排泄、衣服の着脱、挨拶などの基本的な生活習慣を確立を図る。	親子通園や面談を通して生活習慣の確立に向けた話し合いを行い、具体的な対応策に取り組んでいる。	お子さんのニーズや適切な課題設定に基づき、より丁寧な獲得につながりやすい取り組み方のバリエーションを拡大する。
3	保護者への学びの場と情報交換の提供～親子通園、父子通園、親子タイム、ファミリー学習会などの実施。	ファミリー学習会を通じて、当施設への理解を深め、療育の重要性を伝えている。	地域の児童の事業所、保育園、併用利用の保育園に案内を行い、学習会への参加につなげているが、今後さらに拡充に努める。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流 地域に園の事を認識してもらう	①情報発信の不足～園の活動内容や目的が周知されていない為、地域の人々との関わりが薄い。発信方法の選定や頻度が課題。 ②リソースの制限～時間や人手不足で地域交流まで手が及ばない。	地域のイベントに積極的に参加し、園の作品を出展することで地域住民に親近感を持ってもらうことを目指す。また、パンフレットの配布や掲示を通じて、園の活動や理念を広く周知する啓発活動を計画中
2	地域の事業所 保育所、放課後デイサービスとの交流の不足	①目的のすり合わせ不足～交流や連携の具体的な目的や目標が事業所間で統一できず、効果的な協働体制が築けなかった。 ②リソースの不足～人手や勤務時間外の会議などで活動の場の参加が十分でなかった。	①目的のすり合わせ不足への改善策～共通目標の設定：各事業所が共有できる明確な目標を設定するための話し合いを実施。目的や期待を事前にリストアップし、共通点を見つける作業を行う ②リソースの不足への改善策～柔軟なスケジュール設定：勤務時間内に参加できるよう、会議や活動の時間を工夫します。勤務時間外の参加の体制を整備する。
3	スタッフへの児童発達支援センターとしての『センター機能』についての学びと意識改革	①センター機能への理解不足～スタッフに児童発達支援センターの役割や目指すべき方向性を十分な情報提供と教育の不足。 ②研修や学習の機会の不足～センター機能に関連する知識やスキルを習得するための研修や学びの場が十分に用意できなかった。 ③業務量や時間的制約～日々の業務が多忙で、学習や意識改革の時間を確保できなかった。	①センター機能への理解不足への改善策～情報提供の強化 スタッフに向けて、児童発達支援センターの役割や目標について定期的な説明会を開催し、理解を深める。 ②研修や学習の機会の不足への改善策～役割分担の見直し チーム内での役割分担を再検討 ③業務量や時間的制約への改善策～業務の効率化 日々の業務を見直し、作業を簡略化・効率化するためのツールやシステムを導入検討